

KASAI データバンク	人口 / 48,825 (-5)	世帯数 / 16,964 (+9)
H21.6.30 現在 (前月比)	男 / 23,762 (-5)	女 / 25,063 (±0)
	6月の出生数 / 42人	死亡数 / 35人



▲7/6はテーマ「腹痛ってどんな病気」と題し、中村祐子看護師が講演

市立加西病院で「チョイ耳待合広場」を開設

診察を待つ患者さんに、病院関係者が耳より情報を提供する「チョイ耳待合広場」が好評です。

この広場は、薬剤、看護、検査等の部門の専門性を生かし、受ける医療の意義、情報を分かりやすく伝え、広く病院機能を理解してもらうとともに、待ち時間の有効利用にもつなげようと6月18日に開設されました。

「待ち時間に医療や病気について、ちょっと得る話を聞いてみませんか」をコンセプトに毎月第1月曜日と第3木曜日の午前10時から約30分間、病院の薬局前や中庭で開催しています。

なお、都合により変更になる場合がありますので電話でお問い合わせ下さい。市立加西病院 ☎ 2200

青年海外協力隊参加の2名が加西市を表敬訪問

国際協力機構（JICA）青年海外協力隊の平成21年度1次隊として参加する青田晋平さん（北条町古坂・29歳）と松本茜さん（鶴野町・25歳）が6月18日、出発を前に市長を表敬訪問されました。

九会小学校の教師でもある青田さんは、子供たちにスポーツ指導などを行うため6月22日より2年間、プータン王国ティンブー市へ。日本語教師の経験を持つ松本さんは、日系社会の人々の日本語指導のため7月2日よりブラジル連邦共和国ピエダーデ市の日本語学校へ2年間派遣。二人とも「現地の人々との交流を通して日本文化の素晴らしさも伝えていきたい」と抱負を語られました。



▲青年海外協力隊に参加する松本さん（左）と青田さん

第6回ホスピタル・フェア開催

6月27日、市立加西病院を会場に第6回ホスピタル・フェアが開かれ、約200名の市民が参加しました。

フェアは、病院職員をはじめ、はりま看護学校生、北条高校生、ボランティアの方々の協力を得て開催されました。毎年恒例で人気のある骨密度検査などの健康チェックコーナーや医師による相談コーナーなどに加え、今年はフラダンスの出し物や手洗い実験、制服記念撮影などユニークな試みも行われました。

参加者は楽しみながら自身の健康を見直し、医療の現場と交流を深めました。



▲制服着用体験で記念撮影する子どもたち

第59回社会を明るくする運動

7月1日、アステアかさいからイオン加西北条ショッピングセンターの間で、社会を明るくする運動加西市推進委員会（加西市・北播保護区保護司会・加西警察署）による街頭パレードが行われ、約100名が参加しました。

社会を明るくする運動は、罪を犯した者や非行のある少年の改善更正について理解を深め、その犯罪予防のための啓発を行い、安全で安心な地域社会を築くこととするものです。

アステアかさいでは白竜保育園児、イオン加西北条ショッピングセンターでは富田保育所園児による鼓笛隊演奏が行われ、パレード参加者は啓発用ティッシュを買い物客に配るなどしてPRにつとめました。



▲街頭パレード

北条鉄道から「加西産はちみつ」デビュー

加西市南部の山野で、はちみつを採取している(有)山口養蜂園と、北条鉄道㈱のコラボレーションにより、このほど加西産はちみつが売り出されました。はちみつは、500グラム入り瓶詰めでレンゲ2100円、アカシア1700円、百花1200円。化粧箱代は別途300円。加西産はちみつが加西の新しい物産として、ふるさとの特産などに活用されることが期待されています。

■問合せ先：北条鉄道㈱北条町駅 ☎ 0790 ④ 0036



▲加西産はちみつ（箱入り）



▲「男女ともに築こう家庭と地域」パネルトーク

男女共同参画フォーラム開催

7月5日、アステアかさい3階地域交流センターで「いきいき男女が輝くまち加西」と題し、男女共同参画を考えるフォーラムが開催されました。

ジャーナリストの今井一さんをコーディネーターに迎え、市民パネリストと社会の中で男女がどのような役割をしていくのかについての討論会や、カラーコーディネーターの中村賢一さんによる講演会、市民団体による多彩なイベントなどが繰り広げられ、会場には延べ450人が詰め掛け大盛況となりました。

お田植え祭(日吉神社)

6月21日、池上町の水田で、日吉神社とその氏子による「お田植え祭」が行われました。この行事は、その年の五穀豊穡や子孫繁栄などを祈念し、赤米や紫米などの早苗を田植えして奉納するもので、県下でも稀な伝承行事の一つです。

神田前に作られた拜殿で神事が行われたあと、祝詞太鼓保存会（河内町）の打ち鳴らす太鼓が響く中、緋の着物に菅笠の早乙女姿に扮した親子たちが、泥だらけになりながら田植えを行いました。



▶早乙女姿に扮しての田植え



▲石田さんの歌に盛り上がる車内

心ふんわりエココンサート列車

神戸出身の人気シンガーソングライター石田裕之さんを迎え、北条鉄道車上コンサートが6月28日に開催され130人が参加しました。これは、子供も高齢者も、外国人も障害を持つ人も、誰もが楽しめ、心がふんわりと優しくなる時間を持つてもらうとMORE地球家族（村上尚美代表）が企画。

石田さんは、地球環境のため公共交通の利用を呼びかける自作曲などを披露し、参加者は列車に揺られながら、爽やかな歌と共にゆっくりした時間を過ごしました。



▲ブラックライトの不思議な空間演出

賀茂幼稚園 なかよし祭り

7月3日、賀茂幼稚園で、七夕にちなみ、今年で4回目となる「なかよし祭り」が開催され、同園に通う1歳児から5歳児までの親子約150名が参加しました。

短冊に願いごとを書いて笹に飾ったり、ブラックライトの不思議な空間演出や、喫茶コーナー、綿菓子作り挑戦など、子供たちが自ら考え企画したお楽しみコーナーが盛り沢山。子供たちは大はしゃぎで、親子で楽しく夏の夕べのひと時を過ごしました。